

中学校第 1 学年英語科学習指導案

日 時： 平成 25 年 10 月 18 日（金）

指導者： J T E 日吉 敬子

A L T Randolph Fields

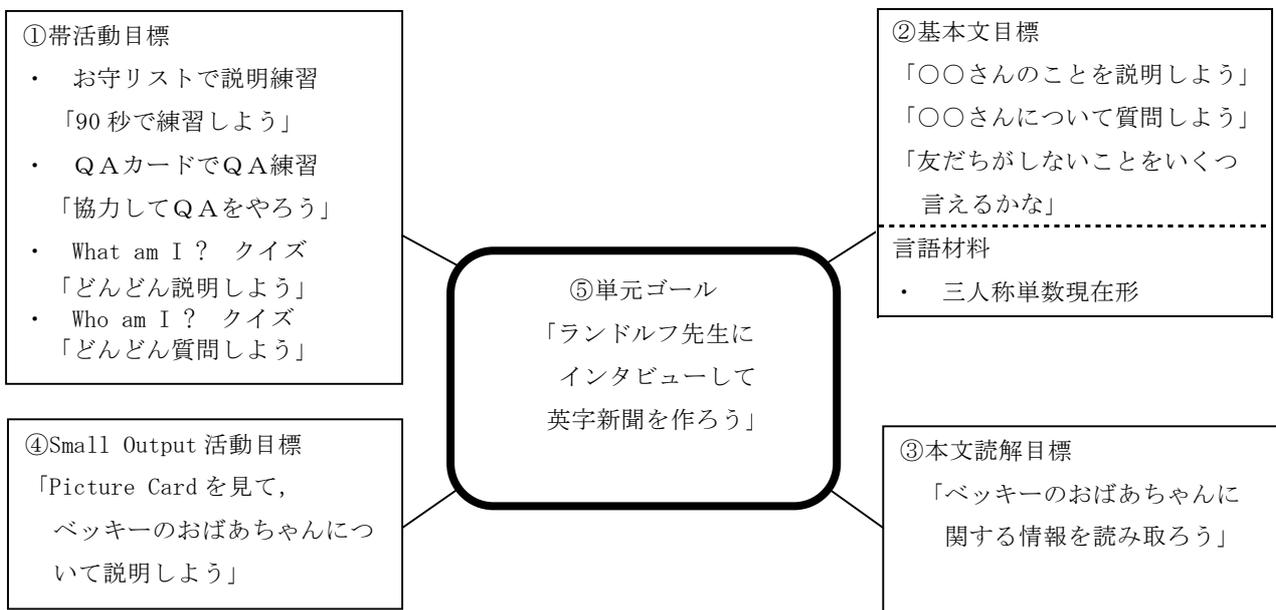
〈キーワード〉 ① 説明する力，質問する力 ② 単元ゴール ③ 帯活動 ④ I C T 利活用

1 単元名

Unit 6 ベッキーのおばあちゃん (*New Horizon English Course 1*)

2 単元について(身に付けさせたい力：説明する力，質問する力)

(1) 単元ゴールに迫る 5 つの言語活動について



本単元を通して身に付けさせたい力は説明する力と質問する力である。この力を育成するために、単元ゴールを「ランドルフ先生にインタビューして英字新聞を作ろう」と設定した。このゴールに迫るために、スキルと内容の両面から、活動をつないでいく。まず、①の帯活動は単元ゴールを支える土台作りとして毎時間行う。ここでは、学習に必要な言語材料と単元ゴールを達成させるための話型を与える(input)。手立てとして、活動に役立つ表現集「お守リスト」を与える。②においては学習に必要な言語材料を、さらに、③においては学習を深めるための情報を、それぞれ文字と口頭で与える(input)。加えて、④において、単元ゴールに近付けるための言語活動を行う。この活動は教科書本文を活用した表現活動であり、「佐賀メソッド」では、これを Small Output (以下 S O) 活動と呼んでいる。単元ゴールのインタビュー部分を主に帯活動が支え、情報を整理し人物について説明する部分を主に S O 活動が支えるように単元を構成する。

以上の流れで、本単元の内容を題材として、上記 5 つの言語活動を行うことで、特に説明する力と質問する力の育成に重点を置きたいと考える。

(2) 教材観

本単元は、ベッキーのスピーチを通して、彼女の祖母について様々な情報を知る内容となっている。概要を伝えるスピーチからの質問・応答の場面の流れは、スピーチをコミュニケーション活動として位置付けた、やりとりの型として読むことができる。言語材料としては、三人称単数現在形を扱う。第三者の紹介をするのに必要な文法事項である。

(3) 生徒観

本学級の生徒に対して、事前に独自の英語学習意識調査を行った。その結果によると「話すこと」及び「書くこと」において次のような課題があることが分かった。「日常生活の身近な話題について、疑問詞で始まる質問に答える」と「重要単語を半分くらい書ける」ことにおいて自信があると回答している生徒は、それぞれ32%、38%であり、それ以外の生徒は、どちらでもない、または自信がないと回答している。このことから、基礎的・基本的な知識・技能に慣れる活動を増やしていく必要があるのではないかと考える。本学級は活動に意欲的な生徒が多く、和やかな雰囲気での学習を進めることができる。そのよさを生かしてペアやグループで楽しませながら活動ができるような授業を展開したい。

また、平成25年度佐賀県小・中学校学習状況調査の2年生調査結果においては、説明文を読んで大切な部分を正確に理解し、その内容を表す適切な語を書くことに課題があることが分かっており、本文読解の指導を通して、その解決法についても探してみたい。

(4) 指導観

本単元ゴールを「ランドルフ先生にインタビューして英字新聞を作ろう」とし、インタビュー活動を行った上で、その情報を英字新聞としてまとめさせることとする。この単元ゴールに迫るまでの指導過程において、上記課題の解決を図るために次の点に留意したい。手立てが必要なものは、主に①基本文や本文などの言語材料を使う場面、②音声と文字を一致させる場面だと考えられる。これらについては特に指導を工夫する必要があるため、①基本文や本文の言語材料に慣れることができるような言語活動を仕組んだり、②フォニックスを用いて音声と綴りのルールを意識させたりしたい。本単元では、帯活動でICTを活用する。ねらいは、練習量を十分に確保したり、言語活動を視覚的に支援したりするためであり、この活動でICTを活用することで、効率よく言語材料に慣れさせたい。②については、本単元のみならず、継続した指導が必要だと考える。

さらに、平成25年度佐賀県小・中学校学習状況調査の2年生調査結果における課題については、本文読解の指導において、初見の英文を推測しながら読ませたり、本文内容の構成を考えさせたり、本文内容にタイトルを付けさせたりするなどの活動を通して、課題解決に寄与したい。

3 単元の目標

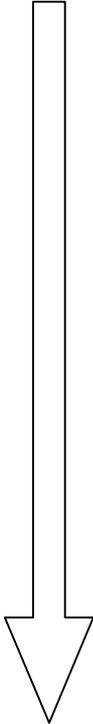
- (1) ペアやグループで協力して、積極的に説明したり質問したりする。
- (2) ランドルフ先生にインタビューして三人称単数現在形を用いた紹介文を英字新聞としてまとめる。
- (3) 本文を読んで、内容を正しく理解する。
- (4) 三人称単数現在形の形・意味・用法を理解する。

4 単元の評価規準

観点	ア：コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ：外国語表現の能力	ウ：外国語理解の能力	エ：言語や文化についての知識・理解
単元の評価規準	・ ペアやグループで協力して、積極的に説明したり質問したりしている。	・ ランドルフ先生にインタビューして三人称単数現在形を用いた紹介文を英字新聞としてまとめることができる。	・ 本文を読んで、内容を正しく理解することができる。	・ 三人称単数現在形の形・意味・用法を理解している。

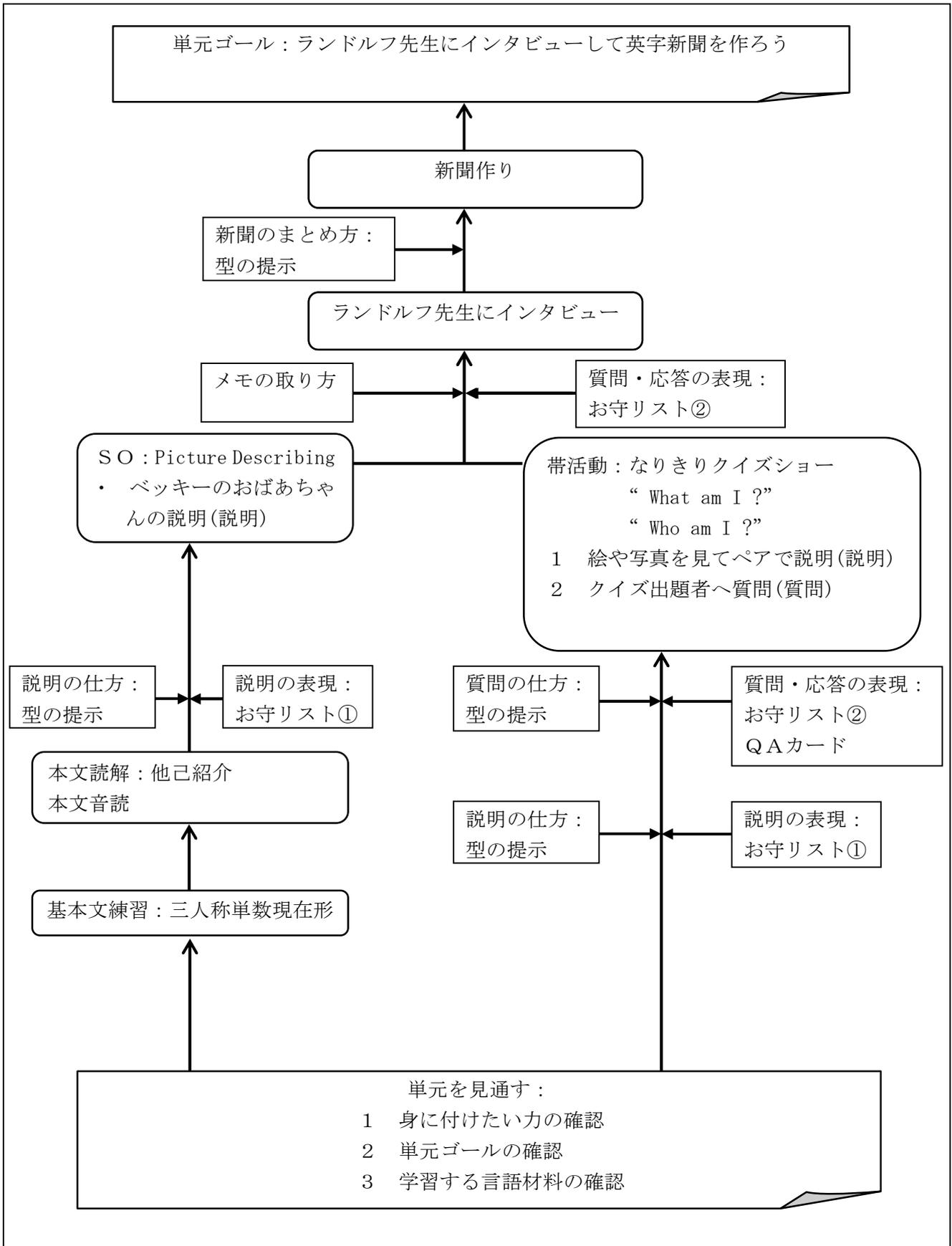
5 主な学習活動

(1) 単元の展開(全 12 時間)

	Input 活動	S O 活動	Output 活動	帯活動
第一次 (2) 本時	「ベッキーのおばあちゃんに関する情報を読み取ろう」という目標のもと、本文の概要をつかむ。(ウ)			「90 秒で練習しよう」という目標のもと、お守リストを用いてペアで説明の練習を行う。
第二次 (3)	「〇〇さんのことを説明しよう」 「〇〇さんについて質問しよう」 「友だちがしないことをいくつか言えるかな」という目標のもと、基本文を一部入れ替えて英文を作る。(ア)			「どんどん説明しよう」という目標のもと、絵や写真についてペアで説明し合う。(ア) 「協力して Q A をやろう」という目標のもと、Q A カードを用いてグループで Q A 練習を行う。
第三次 (3)	「ベッキーのおばあちゃんに関する情報を読み取ろう」という目標のもと、本文を詳しく読み取り、音読活動を行う。(ウ)			「どんどん質問しよう」という目標のもと、グループで協力して質問をする。(ア)
第四次 (2)		Picture Describing 「Picture Card を見て、ベッキーのおばあちゃんについて説明しよう」という目標のもと、話したり書いたりして説明する。		
第五次 (2)			「ランドルフ先生にインタビューして英字新聞を作ろう」という目標のもと、インタビューをした上で三人称単数現在形を用いた紹介文を英字新聞としてまとめる。(イ) 学習内容の定着度を確認する。(エ)	

(2) 単元構想図

単元ゴールと見通し 活動内容 手立て



6 本時の学習指導（2 / 1 2）

(1) 本時の目標

- ・ ペアやグループで協力して、積極的に質問する。（関心・意欲・態度 ア）
- ・ ベッキーのおばあちゃんに関する情報を2つ以上読み取る。（外国語理解の能力 ウ）

(2) 本時の学習指導過程

段階	学習活動	教師の働きかけ(○) 評価(◎) ICT機器使用(◆)													
		J T E	A L T												
導入	本時の目標①：ーグループで協力して、積極的に質問するー														
	1 あいさつ 2 帯活動 (1) Q AカードでQ A練習 グループでQ Aの練習を行う。 (2) Who am I ? ・ A L Tが出題したクイズにグループで質問する。3分後に、 答えを当てる。	○ はっきりと発音するように促す。 ◎ グループで協力して、積極的に質問させるために評価基準を示す（アー活動の観察）。	○ はっきりと発音するように促す。 ○ クイズを出題して、生徒の質問に答える。												
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">積極性</td> <td>すすんで手を挙げている。また、当てられたときに、お守リストをアレンジして質問しようとしている。</td> <td>すすんで手を挙げている。また、当てられたときに、お守リストを基に質問しようとしている。</td> <td>手を挙げようとしない。また、質問しようとしていない。</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">でのグループ協力</td> <td>困っている友達をすすんで助けようとしている。</td> <td>困ったときに自分からすすんで友達の助けを借りて質問しようとしている。</td> <td>友達に言われて手を挙げて質問しようとしている。</td> </tr> </tbody> </table>			A	B	C	積極性	すすんで手を挙げている。また、当てられたときに、お守リストをアレンジして質問しようとしている。	すすんで手を挙げている。また、当てられたときに、お守リストを基に質問しようとしている。	手を挙げようとしない。また、質問しようとしていない。	でのグループ協力	困っている友達をすすんで助けようとしている。	困ったときに自分からすすんで友達の助けを借りて質問しようとしている。	友達に言われて手を挙げて質問しようとしている。
	A	B	C												
積極性	すすんで手を挙げている。また、当てられたときに、お守リストをアレンジして質問しようとしている。	すすんで手を挙げている。また、当てられたときに、お守リストを基に質問しようとしている。	手を挙げようとしない。また、質問しようとしていない。												
でのグループ協力	困っている友達をすすんで助けようとしている。	困ったときに自分からすすんで友達の助けを借りて質問しようとしている。	友達に言われて手を挙げて質問しようとしている。												
展開	本時の目標②：ーベッキーのおばあちゃんに関する情報を2つ以上読み取るー														
	3 Input活動 (1) ある人物の説明を聞き、誰についての説明なのかを推測する。 (2) A L Tによるベッキーのおばあちゃんに関する説明を聞き、情報をワークシートに整理する。	◆ 電子黒板を用いて、A L Tの説明について情報を整理して見せる。 ○ 英語で書けなくてもイラストや日本語を使っていいことを伝える。	○ ある人物の説明を口頭で行う。 ○ ベッキーのおばあちゃんの説明を口頭で行う。												
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">⑥スポーツ・楽器</td> <td style="width: 50%;">①出身地・今住んでいるところ</td> </tr> <tr> <td>⑤好きなもの・嫌いなもの</td> <td>②特徴・年齢</td> </tr> <tr> <td>④できること・できないこと</td> <td>③もっているもの・いないもの</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>		⑥スポーツ・楽器	①出身地・今住んでいるところ	⑤好きなもの・嫌いなもの	②特徴・年齢	④できること・できないこと	③もっているもの・いないもの						
⑥スポーツ・楽器	①出身地・今住んでいるところ														
⑤好きなもの・嫌いなもの	②特徴・年齢														
④できること・できないこと	③もっているもの・いないもの														

段階	学習活動	教師の働きかけ(○) 評価(◎) ICT機器使用(◆)							
		JTE		ALT					
展開	(3) 聞き取った情報をペアで確認する。 (4) 本文内容を読み、情報をワークシートに整理する。ここでは青ペンを使う。	◆ 情報が抜けている部分は、お互いに赤ペンで加筆するように電子黒板を用いて説明する。 ◎ ベッキーのおばあちゃんに関する情報を数多く読み取るために評価基準を示す(ウーワークシート)							
	(5) 読み取った情報を基に、ALTの質問に3ペアが答える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おばあちゃんに関する情報を3つ以上読み取ることができる。</td> <td>おばあちゃんに関する情報を2つ読み取ることができる。</td> <td>おばあちゃんに関する情報を1つ読み取ることができる。または、読み取ることができない。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	おばあちゃんに関する情報を3つ以上読み取ることができる。	おばあちゃんに関する情報を2つ読み取ることができる。	おばあちゃんに関する情報を1つ読み取ることができる。または、読み取ることができない。	○ ベッキーのおばあちゃんに関する質問を、3ペアにする。
A	B	C							
おばあちゃんに関する情報を3つ以上読み取ることができる。	おばあちゃんに関する情報を2つ読み取ることができる。	おばあちゃんに関する情報を1つ読み取ることができる。または、読み取ることができない。							
まとめ	4 まとめ (1) 今日の授業を振り返る。 (2) 家庭学習課題内容を知る。 5 次時の学習内容を知る。	○ 本時の目標の達成度についてルーブリックを用いて自己評価させる。 ○ これまでの学習内容と家庭学習課題内容のつながりについて説明をする。 ○ 家庭学習課題内容を確認させて、次時の学習内容の見通しをもたせる。							

(3) ワークシート回収後の評価

- ・ 形成的評価として行い、総括的評価は後日ペーパーテストを通して行う。(ウーワークシート)。

ベッキーのおばあちゃんに関する情報を2つ以上読み取ることができる。	
Aと判断する具体的状況	おばあちゃんに関する情報を3つ以上読み取ることができる。
Bと判断する具体的状況	おばあちゃんに関する情報を2つ読み取ることができる。
Cと判断する具体的状況	おばあちゃんに関する情報を1つ読み取ることができる。または、読み取ることができない。
Cへの取るべき手立て	つまづきの原因を次時まで個別に確認する。また、生徒の多くが読み取れていない情報については、次時に全体で補足説明をする。以上のことを踏まえて次時の指導に反映させる。

《参考文献》

- ・ 文部科学省 『中学校学習指導要領解説 外国語編』 平成20年
- ・ 国立教育政策研究所教育課程研究センター 『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(中学校 外国語)』 平成23年
- ・ 佐賀県中学校教育研究会英語部会 『第60回九州地区英語教育研究大会(佐賀大会) 佐賀県中学校英語教育研究大会研究紀要』 2012年
- ・ 松本 茂編著 『生徒を変えるコミュニケーション活動』 1999年 教育出版株式会社
- ・ 卯城 祐司 『英語で英語を読む授業』 2011年 研究社